

質問者



八束 正 議員

Q 職員の意識改革が一番必要では

A 全力で意識改革を進めます

問

行政改革をより一層確実に推進し継続して改善改革できる組織づくりが必要である。その中で組織を構成する職員一人一人が自ら考え、自ら行動し、自主的・創造的な目を育てていくことが必要だ。職員の意識改革に対する考え方またどのような方法で意識改革を行なっているか。

答

栗田副町長

住民ニーズや地方分権に対応するためには、職員が十分能力を発揮し全力で職務に取り組むよう意識改革を進める必要があります。

その方策として、個々のレベルアップを図るため、研修計画を毎年度策定、県研修所市町村中央研修所、自治大学等へ計画的に参加させています。

また人事評価制度を導入し、職員が頑張れば評価され、昇給や昇格、勤め手当に反映されるようにしています。

一人一人が深く考え、

横並びの意識をなくすよう指導しています。担当業務以外にも目を向け、疑問については職員同士が討論することを日頃から指導しています。自ら考え、それを実行していくことが意識改革につながると考えています。

問 意識改革での問題点に対する取組は

職員の意識改革のなかで3つの考え方に問題点がある。

- ①責任を取りたがらない
- ②予算消化に対する考え
- ③法令を守ることが大切とか前例がないからできないなどという考え方。これについての解決策と取組は。

答 柔軟な発想を持つ職員を育成します

栗田副町長

- ①責任を持って仕事をしています。職員には失敗を恐れず、思いきり仕事に取組んでほしいと考えています。
- ②予算執行方針の中で最

小の経費で最大の効果を上げるよう通知しています。

- ③今までの既成観念にとらわれることなく、独自の考えで取組むように指導しています。今後も、柔軟な発想を持つ職員を育成し、住民の負託に答えていきたいと考えています。

問 住民要望への対応は

住民の意向・要望に耳を傾け、対応していこうとする姿勢があるが、今の現状と今後の対応について。

- ①住民とのコミュニケーションに関する取組は
- ②住民ニーズを把握するための取組は
- ③情報の活用方法は

答 住民の声をできるだけ行政に反映します

白石町長

- ①町長就任以来各地域の役員、敬老会、いろいろな団体の会等には、でき

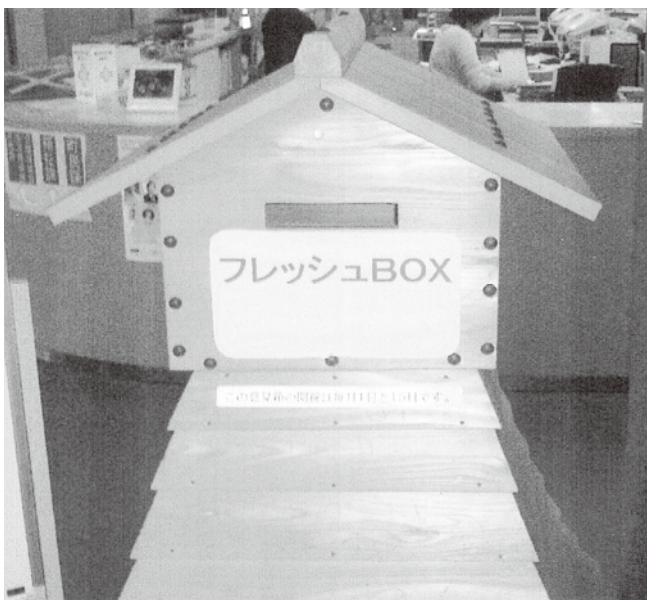
る限り出席をするよう心がけています。職員も、地域で開催される催し物に積極的に参加をしています。

- ②平成14年ふれあいトークという制度をスタートさせましたが、残念ながら活用されていないので改めて、制度を広く住民には周知したいと思っています。また、庁舎にフレッシュボックスを設置し19年度には130件の意見が寄せられました。またいろいろなアンケート調

査を実施して、幅広い意見意向を聞くように努めています。今後も、広く住民の声を聞く機会をつくっていきます。

- ③住民の皆さんの声でできるだけ行政施策の中に反映させていこうと考えています。町では広報紙あるいはホームページを立ち上げていますので利用をして下さい。

この他に「ふるさと納税」の件で意見を言いました。



みんなの声を入れましょう